

# 第1章 鈴鹿市の景観特性

## 1 景観特性

### ① 自然的景観特性

本市は、鈴鹿山脈の山なみ、山麓に広がる丘陵地、水田が広がる平野部、白砂青松の海岸部など、地形変化に富んだ豊かな自然的景観が見られます。

- 国定公園にも指定される鈴鹿山脈は、市内の至るところから望むことができ、広く市民に親しまれる本市の代表的な自然的景観要素といえます。
- 丘陵地では、斜面林や平地林が点在する中に茶畑やサツキ畑などが広がる個性的な自然的景観を形成しています。
- 平野部の市街地周辺に広がる水田地帯は、多くの市民にとって身近に感じられる田園景観といえます。
- 市街地の中心には、まとまった規模の水田地帯である“緑の中心核（通称：セントラルグリーン）※”が広がっており、これは本市の極めて特徴的な景観といえます。
- 平野部の南西は、水田地帯と里山の樹林地帯が広がる良好な自然的景観を有しています。
- 丘陵地と平野部の境界には、鈴鹿川が流れており、その豊かな自然的景観は、市民の生活にうるおいと安らぎをもたらしています。
- 伊勢の海県立自然公園に指定されている千代崎海岸から鼓ヶ浦海岸は、周辺に公園が整備されており、年間を通じて海辺の自然と親しむことができます。また鼓ヶ浦海岸は、「日本の白砂青松100選」にも選出された美しい海岸景観を有しています。
- 海苔の養殖や船引き網などで漁を行う風景は、漁港を有する本市の特徴的な景観となっています。



鈴鹿山脈の山なみ



市街地に囲まれた緑の中心核  
(通称：セントラルグリーン)



自然の豊かな鈴鹿川



砂浜が続く海岸沿いの景観

※緑の中心核（通称：セントラルグリーン）：神戸・牧田・白子の主要地区の間に広がる大規模な優良農地

- 豊かな自然的景観を保全するため、鈴鹿フラワーパーク周辺でのカンナの植栽や、海岸でのゴミや流木の回収作業など、周辺住民等による様々な活動が行われています。
- 周辺の自然的景観にそぐわないデザインの建築物の建築や、土石の採取や太陽光発電施設の設置に伴う地肌の露出、廃棄物などの野積み、廃車の放置など、景観の阻害要因となる行為も見受けられます。



砂浜の清掃活動

## ② 都市的景観特性

平野部を中心に形成された市街地では、自動車メーカーなどの大規模な工場が多数立地し、商業地として白子駅、鈴鹿市駅、平田町駅の各駅周辺に3つの拠点形成するなど、地域ごとに個性的な景観が見られます。

- 都市の顔としての魅力向上に向けた景観づくりが望まれている3つの駅前商業地の中で、かんべ本通り周辺では、再開発事業により、まちづくり協定に基づく良好なまちなみ景観が形成されています。
- 本市のメイン通りともいえる(都)鈴鹿中央線(三日市・西条付近)沿いには多くの店舗が建ち並び、沿道型の商業地景観を形成する一方で、乱立する看板類が景観を阻害する要因にもなっています。
- 市街地には大規模工場が数多く立地しています。大規模な施設は周辺の景観に大きな影響を与えますが、近年では、緑化の工夫などにより、沿道景観の向上を図る取組が見られます。
- 繊維関連工場などの規模縮小に伴い、跡地を大規模商業施設にするなど土地利用転換が進んでいます。集客力のある大規模商業施設を中心に、新たな商業拠点が形成されるなど、市街地の景観が大きく変化しています。



かんべ本通りのまちなみ



(都)鈴鹿中央線(三日市・西条付近)沿いの景観



工場敷地前面に設けられたガーデニングスペース

- 民間開発や土地区画整理事業などによる計画的な住宅地が各地に形成され、太陽の街のように緑豊かで統一感のあるまちなみも見られます。
- 本市の重要な観光資源である鈴鹿サーキット周辺では、観覧車が至るところから望むことができ、また“サーキット道路”と呼ばれる(都)加佐登鼓ヶ浦線の沿道には自動車・バイク関連の店舗などが数多く立地しています。このように鈴鹿サーキット周辺は、モータースポーツ都市をイメージさせる特徴的な景観を創出しています。
- 新たな広域交通網として、新名神高速道路や(都)中勢バイパスが竣工しています。



緑豊かな住宅地景観(太陽の街)



鈴鹿サーキット周辺の景観



鈴鹿ICへのアクセス道路となる(都)鈴鹿中央線(伊船・三畑付近)の景観

また、東名阪自動車道鈴鹿IC<sup>\*</sup>へのアクセス道路となる(都)鈴鹿中央線(伊船・三畑付近)では、4車線化整備に伴い沿道利用への需要が高まり、大規模な工業系施設の開発も見られます。こうした大規模な施設整備では周辺景観に与える影響が大きいといえます。

### ③ 歴史的・文化的景観特性

本市には、東海道、伊勢街道などの旧街道や、椿大神社などの神社仏閣、神戸の石取祭をはじめとする伝統的行事など、有形、無形の歴史的・文化的資源が数多く存在しており、それぞれの地域の個性を彩る景観要素となっています。

- 東海道には石薬師と庄野、また、伊勢街道には神戸と白子の宿場町があり、旧街道沿いには今なおその面影が残されています。しかしながら、民家の建て替えなどにより、歴史的まちなみの連続性は次第に失われつつあります。



東海道のまちなみ



伊勢街道のまちなみ

<sup>\*</sup>IC：インターチェンジ

- 歴史公園として整備された伊勢国分寺跡をはじめ、伊勢国府跡や王塚古墳などの史跡は歴史的景観を構成する重要な要素となっています。



伊勢国分寺跡

#### ④ 眺望景観特性

起伏に富んだ市域には、海のみえる岸岡山緑地をはじめ、鈴鹿サーキットの交差点や桃林寺など眺望景観が楽しめる場所が多く存在します。また、市役所には360°のパノラマが望める展望ロビーが設けられ、多くの市民に親しまれています。



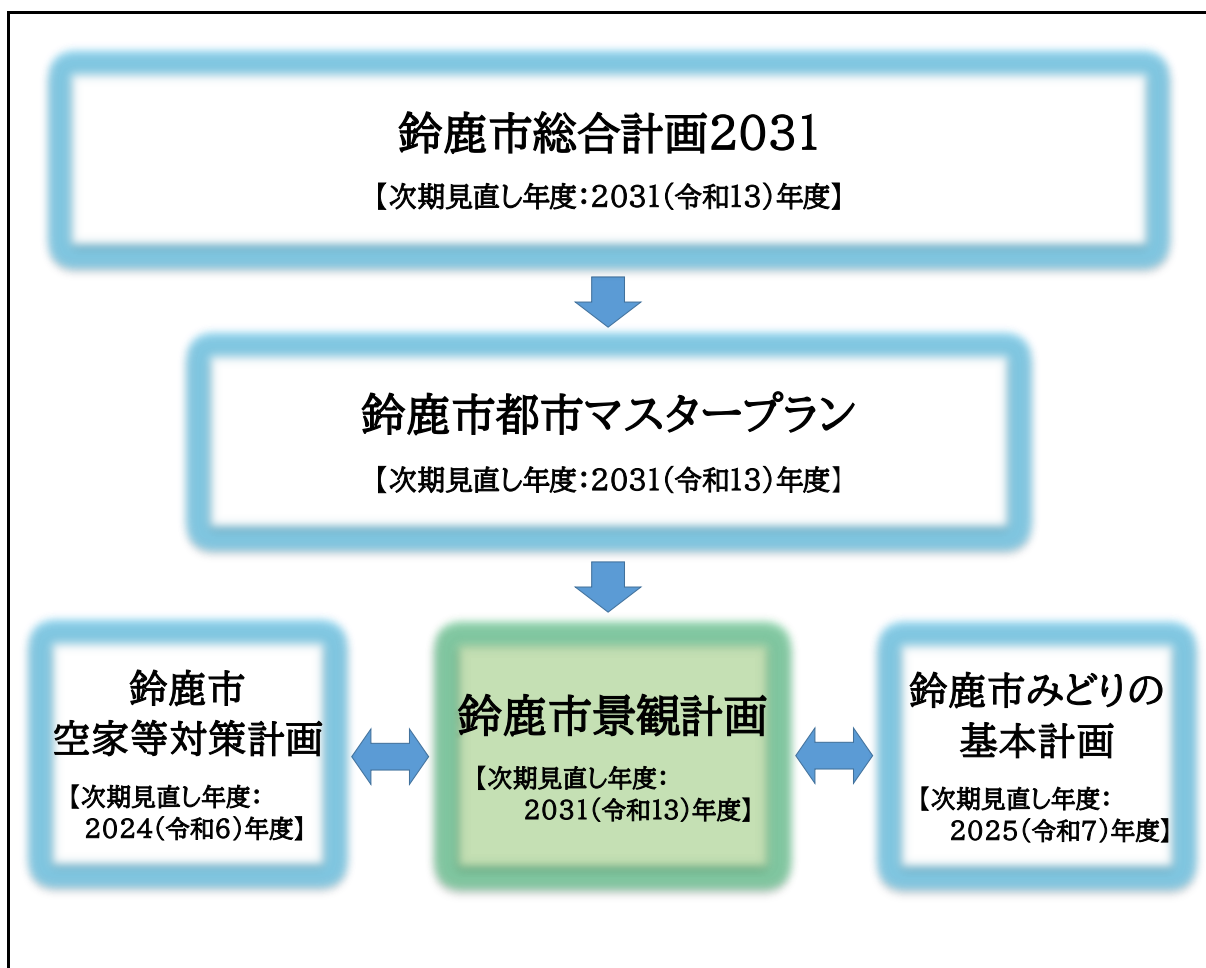
海のみえる岸岡山緑地から望む伊勢湾の眺望

## 2 関連計画

鈴鹿市景観計画は、『鈴鹿市総合計画2031』に掲げる6つのビジョンのうち、ビジョン4「自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち」の実現に資する計画として位置づけています。

また、鈴鹿市景観計画は、『鈴鹿市都市マスタープラン』に即した内容を定め、『鈴鹿市緑の基本計画』及び『鈴鹿市空家等対策計画』と整合を図りながら策定しています。

### ■ 関連計画の体系



## ① 鈴鹿市総合計画2031

2024（令和6）年4月

市政運営の基本となる『鈴鹿市総合計画2031』では、将来都市像を「ひとが  
つながり DX<sup>\*</sup>で未来を拓く #最高に住みやすいまち鈴鹿」と定めています。

その都市像の実現に向け、山、川、海などの恵まれた自然環境の保全と共生を図  
りながら人口減少や超高齢社会に適応した持続可能で良好な都市環境づくりを進  
めていくため、カーボンニュートラル社会を見据えつつ、市民が快適で安心して暮  
らせるまちづくりを目指します。

## ② 鈴鹿市都市マスタープラン

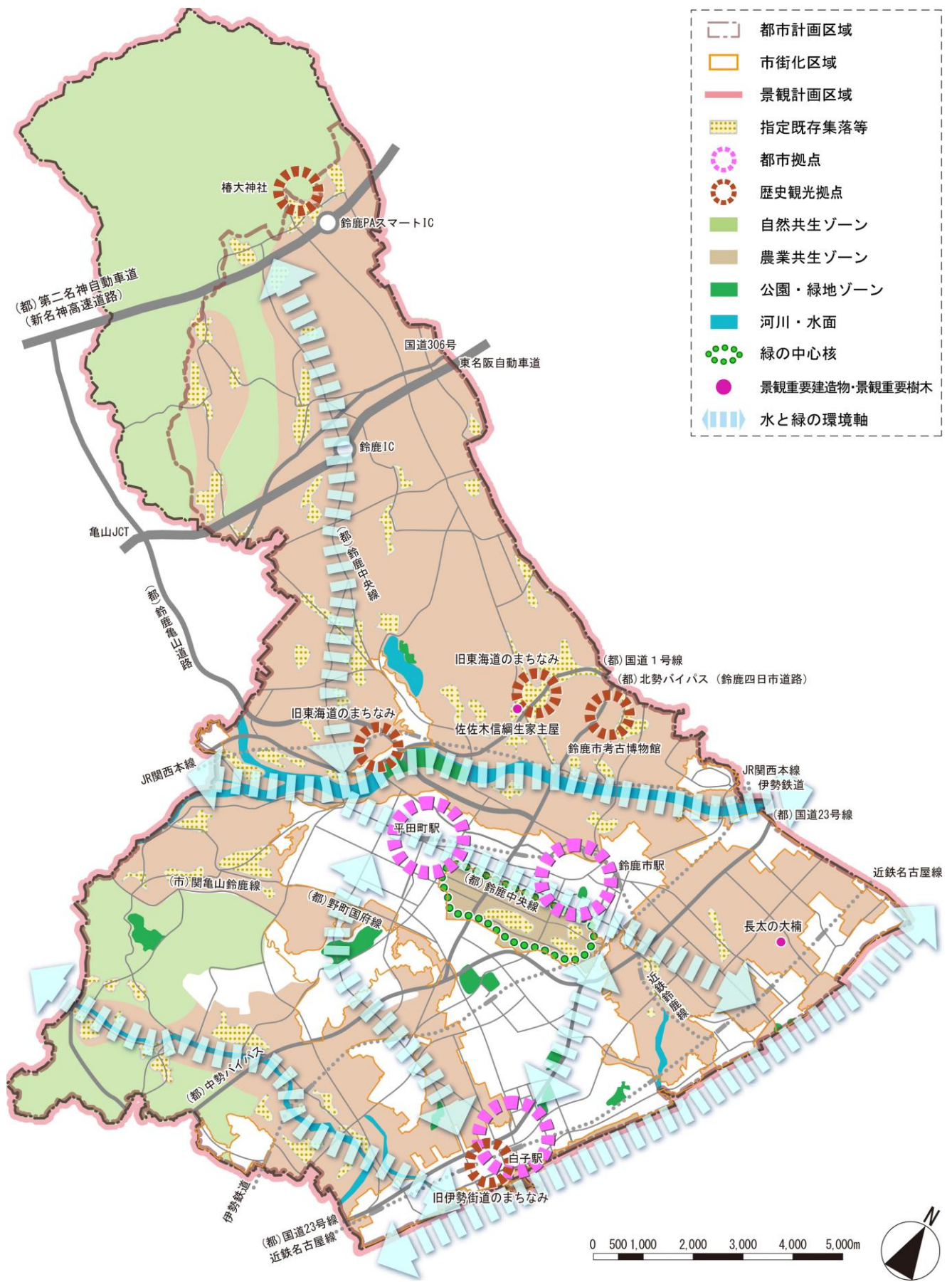
2024（令和6）年4月

『鈴鹿市都市マスタープラン』の土地利用方針は、「将来都市構造」を具現化す  
るため、テーマと視点に基づく「テーマ別都市づくりの方針」の重ね合わせにより  
定めています。

そのうち、本市が有する豊かな自然環境や歴史的景観等の地域資源を次世代へ継  
承するため、以下の方針に基づき「水と緑、景観の都市づくり」を掲げています。

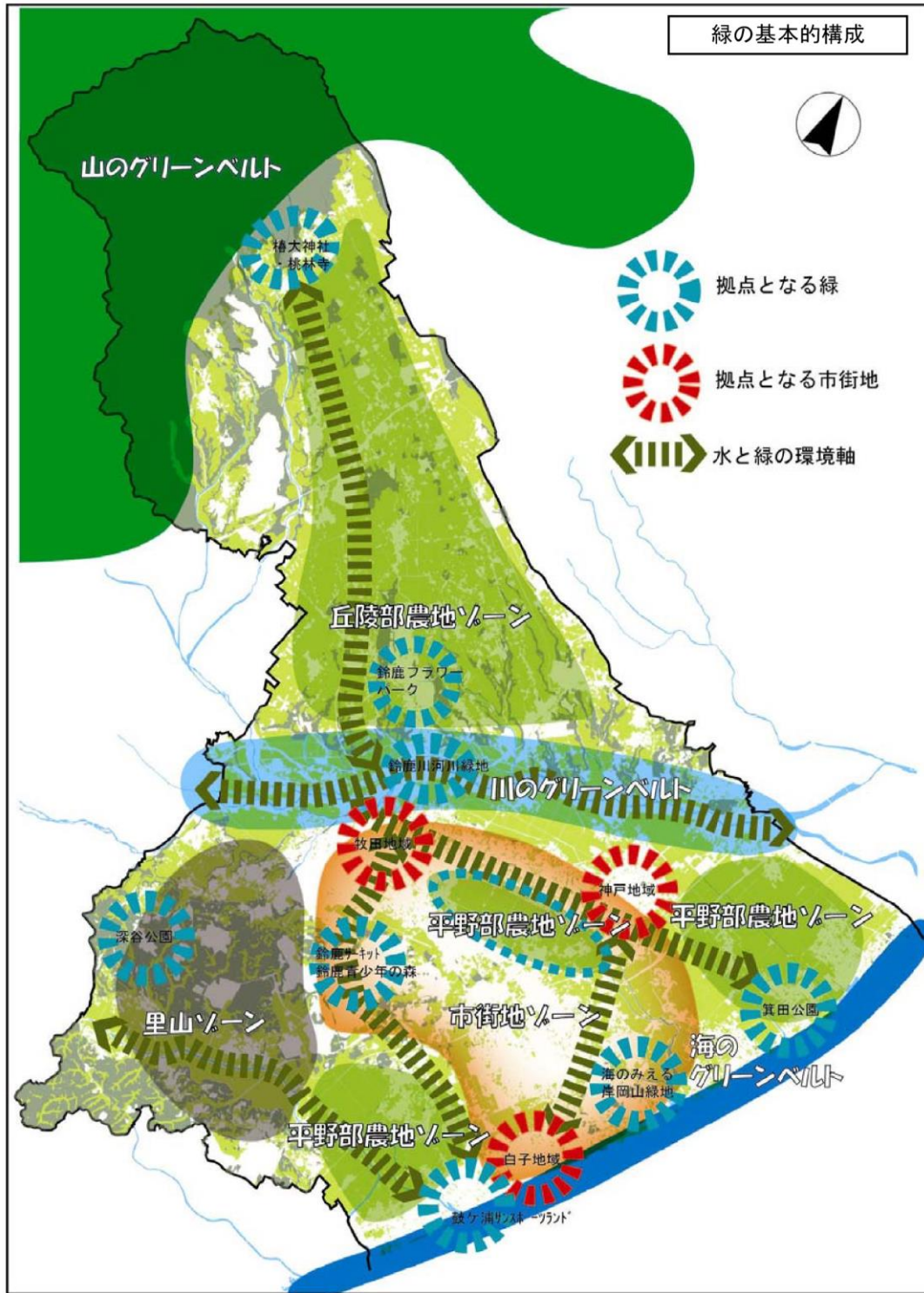
- ① 豊かな自然環境や拠点となる緑地・公園などの保全・活用
- ② 優良農地の保全と営農環境の整備促進
- ③ 多様な主体の協働による公共施設や民有地内における緑化の推進
- ④ 地域資源を活かした良好な景観形成

<sup>\*</sup>DX（デジタルトランスフォーメーション）：ビックデータなどのデータと、AI（人工知能）、IoT（モノのインターネット）などのデジタル技術を手段として活用し、社会に浸透させることで、暮らしをより良いものへと変革すること。



〈鈴鹿市都市マスタープラン 水と緑、景観の都市づくり〉

『鈴鹿市緑の基本計画』では、緑の特徴から下図のように3つのグリーンベルトと4つのゾーンに分類しています。緑は、景観の最も重要な要素の一つであり、景観計画を策定する上でこれら緑の基本的構成を十分に踏まえる必要があります。





近年、地域における人口減少や既存住宅・建築物の老朽化、社会ニーズや産業構造の変化に伴い、居住や使用がなされていない空き家が全国的に増加しています。

この様な状況において、本市においても1993（平成5）年を境に住宅総数が世帯数より多くなる住宅余剰という状況になっており、今後もこの傾向は続くものと推測されます。

また、空き家等の中には適切な管理が行われていないものもあり、防災・衛生面といった周辺住民の生活環境に加え、周辺の景観に対しても影響を及ぼすことから、適切な空き家等の管理が求められます。